

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2004-326459

(43)Date of publication of application : 18.11.2004

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
H04N 7/173

(21)Application number : 2003-120544

(71)Applicant : SONY CORP

MATSUSHITA ELECTRIC IND CO
LTD

(22)Date of filing : 24.04.2003

(72)Inventor : IDEHA YOSHIHARU

KITAZATO NAOHISA

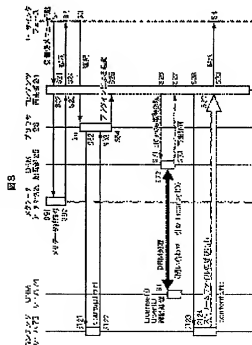
SHIMOJI TATSUYA

MATSUI YOSHINORI

(54) CONTENT DELIVERY SYSTEM AND METHOD, CONTENT PROCESSING DEVICE AND METHOD, STORAGE MEDIUM, AND PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable the easy and sure delivery service of a content through the Internet.
SOLUTION: A browser 23 requests a startup file to a content server 75 in step S52. The content server 75 transmits the startup file to the browser 23 in step S122. It is described in the startup file that a content that is a delivery object is to be stream delivered or to be delivered as a download file. A content reproduction part 24 determines, on the basis of the description of the startup file received from the browser 23, that the content is a stream delivery content or a download content. This invention is applicable to a television receiving set.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-326459

(P2004-326459A)

(43) 公開日 平成16年11月18日 (2004.11.18)

(51) Int. Cl.⁷G06F 13/00
H04N 7/173

F I

G06F 13/00 540A
H04N 7/173 640A

テーマコード (参考)

5C064

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 29 頁)

(21) 出願番号

特願2003-120544 (P2003-120544)

(22) 出願日

平成15年4月24日 (2003.4.24)

(71) 出願人

000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(71) 出願人

000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(74) 代理人

100082131

弁理士 橋本 義雄

(72) 発明者

出雲 義治

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソ

ニー株式会社内

(72) 発明者

北里 直久

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソ

ニー株式会社内

最終頁に続く

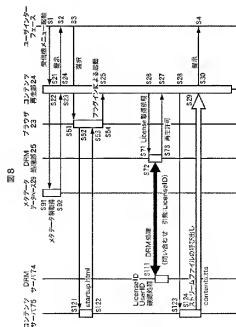
(54) 【発明の名称】 コンテンツ配信システムおよび方法、コンテンツ処理装置および方法、記録媒体、並びにプログラム

(57) 【要約】

【課題】簡単かつ確実に、インターネットを介して、コンテンツの配信を受けうることができるようにする。

【解決手段】ブラウザ23は、ステップS52において、コンテンツサーバ75にstartup fileの送信を要求する。コンテンツサーバ75は、ステップS122において、startup fileをブラウザ23に送信する。Startup fileには、配信の対象とされるコンテンツがストリーム配信されるコンテンツであるのか、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかが記述されている。コンテンツ再生部24は、ブラウザ23から受信したstartup fileの記述に基づいて、コンテンツがストリーム配信用のコンテンツであるのか、ダウンロード用のコンテンツであるのかを判定する。本発明は、テレビジョン受像機に適用することができる。

【選択図】 図8



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツ処理装置にコンテンツを配信するコンテンツ配信システムにおいて、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを前記コンテンツ処理装置からそのユーザに提示し、

前記リストのコンテンツのうち、前記コンテンツ処理装置のユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を、前記コンテンツ処理装置から入力し、

前記コンテンツ処理装置は、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する

ことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項 2】

ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツ処理装置にコンテンツを配信するコンテンツ配信システムのコンテンツ配信方法において、

ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを前記コンテンツ処理装置からそのユーザに提示し、

前記リストのコンテンツのうち、前記コンテンツ処理装置のユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を、前記コンテンツ処理装置から入力し、

前記コンテンツ処理装置は、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する

ことを特徴とするコンテンツ配信方法。

【請求項 3】

ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツの配信を受けるコンテンツ処理装置において、

ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示手段と、

前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力手段と、

各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得手段と

を備えることを特徴とするコンテンツ処理装置。

【請求項 4】

前記配信情報は、前記コンテンツのライセンスに対応付けられている

ことを特徴とする請求項 3 に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項 5】

前記配信情報は、前記コンテンツにアクセスするための情報をさらに含む

ことを特徴とする請求項 3 に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項 6】

ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツの配信を受けるコンテンツ処理

30

40

50

装置のコンテンツ処理方法において、
ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示ステップと、
前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力ステップと、
各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得ステップと
を含むことを特徴とするコンテンツ処理方法。

10

【請求項7】

ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツの配信を受けるコンテンツ処理装置のプログラムであって、
ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示ステップと、
前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力ステップと、
各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得ステップと
を含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

20

【請求項8】

ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツの配信を受けるコンテンツ処理装置のプログラムであって、
ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示ステップと、
前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力ステップと、
各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得ステップと
をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

30

【発明の詳細な説明】**【0001】**

40

【発明の属する技術分野】

本発明は、コンテンツ配信システムおよび方法、コンテンツ処理装置および方法、記録媒体、並びにプログラムに関し、特に、ユーザに戸惑いを覚えさせることなくコンテンツを配信することができるようにしたコンテンツ配信システムおよび方法、コンテンツ処理装置および方法、記録媒体、並びにプログラムに関する。

【0002】**【従来の技術】**

最近、インターネットが普及し、インターネットを介して、各種のコンテンツが配信されるようになってきた。そこで、コンテンツを提供する提供者の広告情報を効果的にユーザに配信することも提案されている（例えば、特許文献1）。

50

【0003】

コンテンツのインターネットを介しての配信方法には、ストリーミングによる配信とダウンロードのファイルによる配信がある。ストリーミングによる配信の場合、受信側では、インターネットを介して受信したデータをリアルタイムでディスプレイに出力、表示して、視聴することになる。

【0004】

これに対して、ダウンロードのファイルによる配信の場合、コンテンツデータは、一旦、例えば、ハードディスクなどに記録される。ユーザは、ハードディスクに記録されたファイルを、その後、任意のタイミングで再生し、コンテンツを視聴することになる。

【0005】

ストリーミング配信の場合、受信したデータを大量に記憶する必要がないため、ハードディスクなどを備えない装置でも、コンテンツを視聴することができる。反面、コンテンツを提供するサーバと受信装置とが常に接続されていなければならないため、通信料が使用時間に応じて課金される場合には、ユーザにとって大きな負担となる。

【0006】

これに対して、ダウンロードのファイルによる配信の場合、ファイル転送が完了した時点で、サーバとの接続が不要となるため、サーバとの間の接続時間は短くて済む。また、コンテンツが受信側に記録されているため、ユーザは、その後、好きな日時において、コンテンツを視聴することが可能となる。

【0007】**【特許文献1】**

特開2003-69977公報

【0008】**【発明が解決しようとする課題】**

このように、ストリーミングによる配信とダウンロードのファイルによる配信は、それぞれ一長一短がある。コンテンツをパーソナルコンピュータで視聴する場合、通常、そのユーザもストリーミングによる配信やダウンロードのファイルによる配信についての知識を有する者であることが多く、ストリーミングの配信における場合と、ダウンロードのファイルによる配信における場合とで、操作が異なっても、それほど大きな支障にはならない。

【0009】

しかしながら、インターネットを介して配信するコンテンツを、例えば、テレビジョン受像機により受信し、視聴するような場合、そのユーザには、ストリーミング配信、ダウンロードのファイル配信といった知識を有していない者も多く含まれる。その結果、ストリーミング配信における場合とダウンロードのファイル配信における場合とで、異なる操作をしなければならないとすると、操作性が悪くなり、インターネットを介してのコンテンツ配信の普及の妨げの原因ともなる。

【0010】

本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、一般ユーザに複雑な操作を強いることなく、コンテンツをネットワークを介して配信できるようにするものである。

【0011】**【課題を解決するための手段】**

本発明のコンテンツ配信システムは、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストをコンテンツ処理装置からそのユーザに提示し、リストのコンテンツのうち、コンテンツ処理装置のユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を、コンテンツ処理装置から入力し、コンテンツ処理装置は、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、ネットワークを介してコンテンツ配信装置から提供された配信情報に基づいて、コンテンツ配信装置からネットワークを

10

20

30

40

50

介して配信されたコンテンツを取得することを特徴とする。

【0012】

本発明のコンテンツ配信方法は、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストをコンテンツ処理装置からそのユーザに提示し、リストのコンテンツのうち、コンテンツ処理装置のユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を、コンテンツ処理装置から入力し、コンテンツ処理装置は、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、ネットワークを介してコンテンツ配信装置から提供された配信情報に基づいて、コンテンツ配信装置からネットワークを介して配信されたコンテンツを取得することを特徴とする。

【0013】

本発明のコンテンツ処理装置は、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示手段と、リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力手段と、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、ネットワークを介してコンテンツ配信装置から提供された配信情報に基づいて、コンテンツ配信装置からネットワークを介して配信されたコンテンツを取得する取得手段とを備えることを特徴とする。

【0014】

前記配信情報は、コンテンツのライセンスに対応付けられているようにすることができる。

【0015】

前記配信情報は、コンテンツにアクセスするための情報をさらに含むようにすることができる。

【0016】

本発明のコンテンツ処理方法は、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示ステップと、リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力ステップと、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、ネットワークを介してコンテンツ配信装置から提供された配信情報に基づいて、コンテンツ配信装置からネットワークを介して配信されたコンテンツを取得する取得ステップとを含むことを特徴とする。

【0017】

本発明の記録媒体のプログラムは、ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツの配信を受けるコンテンツ処理装置のプログラムであって、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストを提示する提示ステップと、リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力ステップと、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、ネットワークを介してコンテンツ配信装置から提供された配信情報に基づいて、コンテンツ配信装置からネットワークを介して配信されたコンテンツを取得する取得ステップとを含むことを特徴とする。

【0018】

本発明のプログラムは、ネットワークを介してコンテンツ配信装置からコンテンツの配信を受けるコンテンツ処理装置のプログラムであって、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテ

ンツのリストを提示する提示ステップと、リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報を入力する入力ステップと、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報であって、ネットワークを介してコンテンツ配信装置から提供された配信情報に基づいて、コンテンツ配信装置からネットワークを介して配信されたコンテンツを取得する取得ステップとをコンピュータに実行させる。

【0019】

第1の本発明においては、ストリーミングにより配信されるコンテンツとダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む複数のコンテンツのリストがユーザに提示され、ユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報がコンテンツ処理装置から入力される。コンテンツ配信装置からコンテンツ処理装置に提供された、コンテンツがストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、または、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報に基づいて、コンテンツ処理装置は、コンテンツを取得する。

【0020】

第2の本発明においては、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリストが提示され、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報が入力されると、そのコンテンツがストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、または、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報に基づいて、コンテンツが取得される。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施の形態を説明するが、請求項に記載の構成要件と、発明の実施の形態における具体例との対応関係を例示すると、次のようになる。この記載は、請求項に記載されている発明をサポートする具体例が、発明の実施の形態に記載されていることを確認するためのものである。従って、発明の実施の形態中には記載されているが、構成要件に対応するものとして、ここには記載されていない具体例があったとしても、そのことは、その具体例が、その構成要件に対応するものではないことを意味するものではない。逆に、具体例が構成要件に対応するものとしてここに記載されていたとしても、そのことは、その具体例が、その構成要件以外の構成要件には対応しないものであることを意味するものでもない。

【0022】

さらに、この記載は、発明の実施の形態に記載されている具体例に対応する発明が、請求項に全て記載されていることを意味するものではない。換言すれば、この記載は、発明の実施の形態に記載されている具体例に対応する発明であって、この出願の請求項には記載されていない発明の存在、すなわち、将来、分割出願されたり、補正により追加される発明の存在を否定するものではない。

【0023】

【請求項1】 ネットワーク（例えば、図1のインターネット1）を介してコンテンツ配信装置（例えば、図1のサーバ2）からコンテンツ処理装置（例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機3-1）にコンテンツ（例えば、番組）を配信するコンテンツ配信システム（例えば、図1のコンテンツ配信システム11）において、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリスト（例えば、図18のパッケージ内タイトル一覧）を前記コンテンツ処理装置からそのユーザに提示し（例えば、図8のステップS24）、

前記リストのコンテンツのうち、前記コンテンツ処理装置のユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報（例えば、図18のカーソル141により番組「最終話 宇宙を

駆ける」が指定されていることを表す情報)を、前記コンテンツ処理装置から入力し(例えば、図8のステップS51)、

前記コンテンツ処理装置は、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報(例えば、図6のStartup file)であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された(例えば、図8のステップS122の処理により提供されたか、または図12のステップS392と、図11のステップS294の処理により提供された)前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する(例えば、図8のステップS29の処理により取得するか、または図11のステップS229の処理により取得する)

ことを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項2】 ネットワーク(例えば、図1のインターネット1)を介してコンテンツ配信装置(例えば、図1のサーバ2)からコンテンツ処理装置(例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機3-1)にコンテンツ(例えば、番組)を配信するコンテンツ配信システム(例えば、図1のコンテンツ配信システム11)のコンテンツ配信方法において、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリスト(例えば、図18のパッケージ内タイトル一覧)を前記コンテンツ処理装置からそのユーザに提示し(例えば、図8のステップS24)、

前記リストのコンテンツのうち、前記コンテンツ処理装置のユーザが配信を受けるコンテンツを指定する指定情報(例えば、図18のカーソル141により番組「最終話 宇宙を駆ける」が指定されていることを表す情報)を、前記コンテンツ処理装置から入力し(例えば、図8のステップS51)、

前記コンテンツ処理装置は、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報(例えば、図6のStartup file)であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された(例えば、図8のステップS122の処理により提供されたか、または図12のステップS392と、図11のステップS294の処理により提供された)前記配信情報に基づいて、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する(例えば、図8のステップS29の処理により取得するか、または図11のステップS229の処理により取得する)

ことを特徴とするコンテンツ配信方法。

【請求項3】 ネットワーク(例えば、図1のインターネット1)を介してコンテンツ配信装置(例えば、図1のサーバ2)からコンテンツ(例えば、番組)の配信を受けるコンテンツ処理装置(例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機3-1)において、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリスト(例えば、図18のパッケージ内タイトル一覧)を提示する提示手段(例えば、図15のステップS501の処理を実行する図2のコンテンツ再生部24)と、

前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報(例えば、図18のカーソル141により番組「最終話 宇宙を駆ける」が指定されていることを表す情報)を入力する入力手段(例えば、図15のステップS502の処理を実行する図2の入力部21)と、

各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報(例えば、図6のStartup file)であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された(例えば、図8のステップS122の処理により提供されたか、または図12のステップS392と、図11のステップS294の

10

20

30

40

50

処理により提供された) 前記配信情報に基づいて (例えば、図 15 のステップ S 508 の処理、または図 16 のステップ S 514 の処理に基づいて)、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得手段 (例えば、図 15 のステップ S 511、若しくは図 16 のステップ S 518 の処理を実行する図 2 のコンテンツ再生部 24、または図 15 のステップ S 510、若しくは図 16 のステップ S 521 の処理を実行する図 2 のコンテンツ記憶部 27) とを備えることを特徴とするコンテンツ処理装置。

【請求項 4】 前記配信情報は、前記コンテンツのライセンスに対応付けられている (例えば、図 6 に示されるように、`startup file` を含むコンテンツは、コンテンツ ID と 1 対 1 に対応し、コンテンツ ID はライセンス ID と 1 対 n に対応し、ライセン

ス ID はライセンスと 1 対 1 に対応する) ことを特徴とする請求項 3 に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項 5】 前記配信情報は、前記コンテンツにアクセスするための情報 (例えば、図 10、図 13、または図 14 の `url`) をさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載のコンテンツ処理装置。

【請求項 6】 ネットワーク (例えば、図 1 のインターネット 1) を介してコンテンツ配信装置 (例えば、図 1 のサーバ 2) からコンテンツ (例えば、番組) の配信を受けるコンテンツ処理装置 (例えば、図 1 のデジタルテレビジョン受像機 3-1) のコンテンツ処理方法において、

ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリスト (例えば、図 18 のパッケージ内タイトル一覧) を提示する提示ステップ (例えば、図 15 のステップ S 501) と、前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報 (例えば、図 18 のカーソル 141 により番組「最終話 宇宙を駆ける」が指定されていることを表す情報) を入力する入力ステップ (例えば、図 15 のステップ S 502) と、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報 (例えば、図 6 の `Startup file`) であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された (例えば、図 8 のステップ S 122 の処理により提供されたか、または図 12 のステップ S 392 と、図 11 のステップ S 294 の処理により提供された) 前記配信情報に基づいて (例えば、図 15 のステップ S 508 の処理、または図 16 のステップ S 514 の処理に基づいて)、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得ステップ (例えば、図 15 のステップ S 511、若しくは図 16 のステップ S 518、または図 15 のステップ S 510、若しくは図 16 のステップ S 521) とを含むことを特徴とするコンテンツ処理方法。

【請求項 7】 ネットワーク (例えば、図 1 のインターネット 1) を介してコンテンツ配信装置 (例えば、図 1 のサーバ 2) からコンテンツ (例えば、番組) の配信を受けるコンテンツ処理装置 (例えば、図 1 のデジタルテレビジョン受像機 3-1) のプログラムであって、

ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリスト (例えば、図 18 のパッケージ内タイトル一覧) を提示する提示ステップ (例えば、図 15 のステップ S 501) と、前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報 (例えば、図 18 のカーソル 141 により番組「最終話 宇宙を駆ける」が指定されていることを表す情報) を入力する入力ステップ (例えば、図 15 のステップ S 502) と、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報 (例えば、図 6 の `Startup file`) であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された (例えば、図 8 のステップ S 122 の処理

により提供されたか、または図12のステップS392と、図11のステップS294の処理により提供された)前記配信情報に基づいて(例えば、図15のステップS508の処理、または図16のステップS514の処理に基づいて)、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得ステップ(例えば、図15のステップS511、若しくは図16のステップS518、または図15のステップS510、若しくは図16のステップS521)とを含むことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【請求項8】 ネットワーク(例えば、図1のインターネット1)を介してコンテンツ配信装置(例えば、図1のサーバ2)からコンテンツ(例えば、番組)の配信を受けるコンテンツ処理装置(例えば、図1のデジタルテレビジョン受像機3-1)のプログラムであって、ストリーミングにより配信されるコンテンツと、ダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツを含む、複数のコンテンツのリスト(例えば、図18のパッケージ内タイトル一覧)を提示する提示ステップ(例えば、図15のステップS501)と、前記リストのコンテンツのうち、配信を受けるコンテンツを指定する指定情報(例えば、図18のカーソル141により番組「最終話 宇宙を駆ける」が指定されていることを表す情報)を入力する入力ステップ(例えば、図15のステップS502)と、各コンテンツ毎に、そのコンテンツが、ストリーミングにより配信されるコンテンツであるのか、またはダウンロードのファイルとして配信されるコンテンツであるのかを規定する配信情報(例えば、図6のStartup file)であって、前記ネットワークを介して前記コンテンツ配信装置から提供された(例えば、図8のステップS122の処理により提供されたか、または図12のステップS392と、図11のステップS294の処理により提供された)前記配信情報に基づいて(例えば、図15のステップS508の処理、または図16のステップS514の処理に基づいて)、前記コンテンツ配信装置から前記ネットワークを介して配信された前記コンテンツを取得する取得ステップ(例えば、図15のステップS511、若しくは図16のステップS518、または図15のステップS510、若しくは図16のステップS521)とをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【0024】

以下、本発明の実施の形態について説明する。図1は、本発明を適用したコンテンツ配信システムの構成例を表している。このコンテンツ配信システム11は、代表的なネットワークとしてのインターネット1を介して相互に接続されたサーバ2とデジタルテレビジョン受像機3-1、3-2とにより構成される。インターネット1には、また、放送局4も接続されている。サーバ2は、放送局4が放送した番組を受信し、保持する。あるいはまた、サーバ2は、放送局4からインターネット1を介して、番組の提供を受け、これを保持する。もちろん、サーバ2は、この他、独自の番組を保持することもできる。

【0025】

デジタルテレビジョン受像機3-1、3-2は、例えば、家庭、職場等に配置されており、放送局4が放送する電波を受信し、番組を視聴する機能を有している他、インターネット1を介して、サーバ2が提供する番組を受信し、視聴する機能も有している。

【0026】

なお、図1には、1台のサーバ2と、2台のデジタルテレビジョン受像機3-1、3-2のみが示されているが、サーバ2は、複数台であってもよいし、デジタルテレビジョン受像機3-1、3-2は、一般的には、より多くの台数とされる。

【0027】

なお、以下においては、デジタルテレビジョン受像機3-1、3-2を個々に区別する必要がない場合、単に、デジタルテレビジョン受像機3と称する。

【0028】

図2は、デジタルテレビジョン受像機3の機能的構成例を表している。入力部21は、

ユーザからの各種の指令を入力する。表示部22は、番組を構成する画像を表示したり、対応する音声を出力する。表示部22は、また、その他の各種の情報をユーザに表示する。

【0029】

ブラウザ23は、HTML (Hyper Text Markup Language) 文書 (CSS (Cascading Style Sheets) を含む) の表示と、HTMLに含まれるスクリプトの実行を行う。また、ブラウザ23は、同様に、BML (Broadcast Markup Language) 文書 (CSSを含む) の表示と、BMLに含まれるスクリプトの実行を行う。その他、コンテンツガード社のXrML (eXtensible rights Markup Language) に対応することもできる。 10

【0030】

コンテンツ再生部24は、例えば、マイクロソフト社のメディアプレーヤ (商標) に代表されるソフトウェアにより構成され、コンテンツの受信から再生までを制御し、実行する。コンテンツ再生部24は、また、マークアップ言語処理以外のデジタルテレビジョン受像機3に組み込まれている各種の制御も実行する。

【0031】

DRM (Digital Right Management) 処理部25は、サーバ2を構成するDRMサーバ74 (後述する図4) と通信し、コンテンツに関するライセンスを取得し、デジタルテレビジョン受像機3内において、これを管理する。なお、DRM 20 処理部25は、暗号化されているデータを復号するキーKcをコンテンツ再生部24に供給するので、キーKcをセキュアに管理するためには、例えば、コンテンツ再生部24と一体化される。

【0032】

課金処理部26は、電子マネー、プリペイドなどの方式に基づいて、課金処理を行う。コンテンツ記憶部27は、例えば、ハードディスクなどで構成され、サーバ2のコンテンツサーバ75 (図4) から提供されるコンテンツを記憶する。

【0033】

アプリケーション28は、各種のソフトウェアにより構成され、デジタルテレビジョン受像機3の各種の動作を制御する。メタデータデータベース29は、サーバ2のメタデータデータベース73 (図4) から供給されるメタデータを保持する。 30

【0034】

入力部21は、ユーザからの入力に対応する信号をブラウザ23とコンテンツ再生部24に出力する。表示部22は、ブラウザ23またはコンテンツ再生部24から提供される情報を提示する。コンテンツ再生部24は、コンテンツ記憶部27から必要なコンテンツを読み出す。コンテンツ再生部24は、また、必要に応じて課金処理部26に課金処理を指示する。DRM処理部25は、コンテンツ再生部24からのDRM処理の指示に基づいて、DRM処理を実行した後、暗号化されているコンテンツを復号するのに必要なキーKcをコンテンツ再生部24に出力する。

【0035】

アプリケーション28は、ブラウザ23を起動したり、コンテンツ再生部24に再生を指示する処理を実行する他、メタデータデータベース29にメタデータ検索を指令し、検索の結果得られたメタデータを取得する。 40

【0036】

デジタルテレビジョン受像機3は、例えば、図3に示されるようなリモートコマンド51からの指令に基づいて、各種の動作を実行する。このリモートコマンド51は、数字1乃至12に対応する数字ボタン52を有している。また、リモートコマンド51の前方先端には、ユーザのボタン操作に対応する赤外線信号を発生する発生部53が設けられている。 50

【0037】

数字ボタン５２の図中下側には、カーソルなどを上下左右に移動させるとき操作される方向ボタン５５Ｕ、５５Ｄ、５５Ｌ、５５Ｒと、その中央に確定処理を行うとき、操作される決定ボタン５４が配置されている。

【００３８】

また、リモートコマンド５１の図中下側には、詳細ボタン５６、停止ボタン５７、および再生ボタン５８が設けられている。詳細ボタン５６は、呈示されている情報のより詳細な情報の提示を指示するとき操作される。停止ボタン５７は、コンテンツの再生を停止するとき操作される。再生ボタン５８は、コンテンツの再生を指示するとき操作される。再生ボタン５８の上方のメニューボタン５９は、メニューを表示するとき操作される。

【００３９】

なお、図示は省略されているが、リモートコマンド５１には、この他、各種の機能が割り当てられた各種のボタンが適宜設けられる。

【００４０】

図４は、サーバ２の構成を表している。この例においては、サーバ２は、ショップサーバ７１、決済サーバ７２、メタデータデータベース７３、ＤＲＭサーバ７４、およびコンテンツサーバ７５により構成されている。

【００４１】

サーバ２の各部は、デジタルテレビジョン受像機３の各部と、図５に示されるように、相互に情報を授受する。

【００４２】

ショップサーバ７１は、ブラウザ２３からインターネット１を介してアクセスを受けたとき、ＨＴＭＬ文書またはＢＭＬ文書からなるナビゲーション情報をブラウザ２３に提供する。決済サーバ７２は、ブラウザ２３または課金処理部２６と通信し、決済処理を行う。決済サーバ７２は、ショップサーバ７１からの決済処理依頼に基づいて、決済処理を行い、その決済結果をショップサーバ７１に出力する。

【００４３】

メタデータデータベース７３は、アプリケーション２８からのメタデータ取得依頼に基づいて、記憶しているメタデータを読み出し、デジタルテレビジョン受像機３のメタデータデータベース２９に供給し、記憶させる。

【００４４】

また、メタデータデータベース７３は、ショップサーバ７１からのメタデータ検索依頼に基づいて、検索して得られたメタデータをショップサーバ７１に供給する。

【００４５】

ＤＲＭサーバ７４は、ショップサーバ７１からのライセンス発行許可要請に基づいて、デジタルテレビジョン受像機３のＤＲＭ処理部２５と通信し、ＤＲＭ処理を実行する。このＤＲＭ処理には、ユーザがライセンスを有する適正なユーザであるのか否かの認証処理、暗号化されているデータを復号するのに必要なキーＫｃの付与、取得処理、その他の著作権管理に必要な処理が含まれる。正しいＤＲＭ処理が実行できたとき、ＤＲＭサーバ７４は、コンテンツサーバ７５にコンテンツを暗号化するのに必要なキーＫｃを供給する。また、ＤＲＭサーバ７４は、正しいＤＲＭ処理が実行できたとき、デジタルテレビジョン受像機３のＤＲＭ処理部２５に、対応するキーＫｃを供給する。

【００４６】

コンテンツサーバ７５は、ＤＲＭサーバ７４より供給されたキーＫｃを用いて、コンテンツデータを暗号化し、コンテンツ再生部２４にストリーミング配信するか、または、ダウンロードのファイルとしてコンテンツ記憶部２７に配信し、記憶させる。

【００４７】

なお、図４と図５の例では、サーバ２を複数のサーバで構成するようにしたが、１つのサーバで構成することも、もちろん可能である。

【００４８】

図６は、決済、ＤＲＭ処理、および再生に関する各種の情報の関係を表している。同図に

10

20

30

40

50

示されるように、機器IDとユーザID (User ID) は、1対1に対応している。機器IDは、デジタルテレビジョン受像機3にそれぞれ割り当てられたIDであり、ユーザIDは、そのデジタルテレビジョン受像機3を使用するユーザに割り当てられたIDである。これらのIDにより、デジタルテレビジョン受像機3やユーザが個々に識別される。

【0049】

所定のユーザIDが割り当てられたユーザは、サーバ2の管理者との間で、商品としてのパッケージを購入する契約を行う。具体的には、ユーザは、サーバ2から提供される番組の中から所望の番組をパッケージ (Package) として購入する。このパッケージには、パッケージメタ (Package Meta) が1対1に対応している。

10

【0050】

各パッケージには、1以上のコンテンツが対応付けられている。1つのコンテンツは、コンテンツ本体、ダウンロード用の管理情報ファイルとしてのDownload.xml、およびスタートアップファイル (startup file) により構成される。コンテンツ本体は、番組の内容を表すコンテンツデータの本体である。

【0051】

管理情報ファイルとしてのDownload.xmlは、そのコンテンツがダウンロード用のコンテンツである場合に用意されるものであり、その中には、ディレクトリ、ファイル名等が記述されている。そのディレクトリに記述されている全てのファイルが受信されたとき、ダウンロードが完了したことになる。

20

【0052】

startup fileは、そのコンテンツがダウンロード配信用のデータであるのか、ストリーミング配信用のデータであるのかといったことを表す配信タイプに関する情報を含んでいる。このstartup fileの詳細については、図10を参照して後述する。

【0053】

コンテンツには、コンテンツID (Contents ID) が1対1に対応する。コンテンツは、このコンテンツIDにより識別される。コンテンツIDには、コンテンツメタデータ (Contents Metadata) がさらに1対1に対応する。コンテンツメタデータは、図7に示されるように、コンテンツID、タイトル名、ジャンル、番組説明といった情報を含んでいる。

30

【0054】

1つのコンテンツIDには、n個 (nは1以上の整数) のライセンスIDが対応付けられる。同様に、1つのコンテンツメタデータには、n個のライセンスメタデータ (License Metadata) が対応付けられる。

【0055】

ライセンスIDは、1対1に対応付けられているライセンスを識別する。各ライセンスは、ライセンスID、使用ルール (Usage Rule)、およびコンテンツ鍵束により構成される。このコンテンツ鍵束 (図5に示されるキーKcに対応する) は、そのライセンスが対象とするコンテンツを復号するのに必要な任意の数のキー (鍵) を含む鍵束であり、コンテンツIDと1対1に対応している。

40

【0056】

ライセンスIDには、ライセンスメタデータ (License Metadata) が1対1に対応する。ライセンスメタデータには、図7に示されるように、ライセンスID、コンテンツID、コンテンツURL (Uniform Resource Locator)、ライセンスURL、配信タイプ、コンテンツタイトル名、使用規則のテキストなどが含まれる。

【0057】

ライセンスメタデータとコンテンツメタデータは、そこに含まれるコンテンツIDにより、n対1に対応付けられる。

50

【0058】

ライセンスメタデータのコンテンツURLは、コンテンツを得る場合のアクセス先を表す。ライセンスURLは、ライセンスを得る場合のアクセス先を表す。配信タイプは、そのライセンスが対象とするコンテンツが、ストリーム配信されるものであるのか、ダウンロードファイルとして配信されるものであるのかを表す。

【0059】

パッケージは、ライセンスIDとm対n（mはnと同様、1以上の整数）に対応付けられる。同様に、パッケージメタは、ライセンスメタデータとm対nに対応付けられる。

【0060】

パッケージメタは、図7に示されるように、パッケージID（Package ID）、¹⁰ ショップサイトURL（Shop Site URL）、パッケージ利用期間、パッケージタイプ、パッケージ情報、およびライセンスIDリストにより構成される。

【0061】

パッケージIDは、パッケージを識別する情報である。ショップサイトURLは、そのパッケージを得るためのショップサイトのアクセス先を表す。パッケージ利用期間は、そのパッケージを利用することが可能な期間を表す。

【0062】

パッケージタイプは、そのパッケージがパック（Pack）であるのか、またはサブスクリプション（Subscription）であるのかを表す。あるいは、また、パッケージタイプは、マルチキャスト（Multicast）であるのか、そうでないのかを表す。²⁰ Packは、予め定められている所定の任意の数の番組が含まれるタイプのパッケージであることを表す。Subscriptionは、例えば、予め定められた一定の日数に渡って、予め定められたチャンネルの番組を視聴できるタイプであることを表す。Multicastは、そのパッケージが有料または無料で不特定多数のユーザに提供されるタイプであることを表す。

【0063】

パッケージ情報は、そのパッケージの名称と料金に関する情報を含む。ライセンスIDリストは、そのパッケージに含まれるライセンスのライセンスIDを記述する。

【0064】

パッケージメタは、そこに記述されているライセンスIDに対応するライセンスメタデータ³⁰に対応することになる。

【0065】

次に、図8のフローチャートを参照して、サーバ2上のコンテンツを再生する場合の処理について説明する。

【0066】

なお、この図8の処理を実行するに先立って、デジタルテレビジョン受像機3は、サーバ2からメタデータを予め取得しておく必要がある。この処理が図9のフローチャートに示されている。

【0067】

すなわち、ステップS151において、アプリケーション28は、ユーザからの指示に基づいて、インターネット1を介してメタデータデータベース73にアクセスし、メタデータ取得を依頼する。メタデータデータベース73は、ステップS171において、アプリケーション28からのアクセスを受け付けると、ステップS172において、依頼されたコンテンツに関するメタデータを読み出し、インターネット1を介して、デジタルテレビジョン受像機3のメタデータデータベース29に供給する。メタデータデータベース29は、ステップS161において、このメタデータを受信し、記憶する。⁴⁰

【0068】

以上の処理により、デジタルテレビジョン受像機3のメタデータデータベース29には、メタデータが予め保持される。このメタデータには、図6に示されるパッケージメタ、ライセンスメタデータ、およびコンテンツメタデータが含まれる。⁵⁰

【0069】

このようにして、予めメタデータがメタデータデータベース29に保持されている状態で、図8に示される処理が実行される。なお、図8のユーザインターフェースは、図2の入力部21と表示部22により構成される。

【0070】

ユーザは、リモートコマンド51のメニューボタン59を操作することで、デジタルテレビジョン受像機31のメニュー起動を指令する。このとき、ステップS1で入力部21は、コンテンツ再生部24にメニュー起動を指令する。ステップS21において、入力部21からの指令を受信したコンテンツ再生部24は、ステップS22において、メタデータデータベース29に既に記憶されているメタデータの読み出しを指令する。

10

【0071】

ステップS91において、メタデータデータベース29は、コンテンツ再生部24からの指令を取得すると、ステップS92において、予め記憶されているメタデータを読み出し、コンテンツ再生部24に供給する。

【0072】

コンテンツ再生部24は、ステップS23において、メタデータデータベース29から供給されたメタデータを取得すると、ステップS24において、そこに記述されているコンテンツ（番組）のタイトル名を読み出し、ユーザインターフェースとしての表示部22に供給する。ステップS2において、表示部22は、コンテンツ再生部24から供給されたコンテンツのリストを表示する。

20

【0073】

ユーザは、このリストの表示を見て、リモートコマンド51の方向ボタン55U乃至55Rと決定ボタン54を適宜操作することで、所定の番組を選択する。ステップS3で、入力部21は、このユーザの操作に対応する選択信号（選択された番組を指定する情報）をブラウザ23に供給する。

【0074】

ブラウザ23は、ステップS51において、入力部21からの番組の選択を受信すると、ステップS52において、その番組（コンテンツ）に対応するstartup fileをコンテンツサーバ75に要求する。この要求には、コンテンツを識別するコンテンツIDが含まれている。

30

【0075】

コンテンツサーバ75は、ステップS122において、指定されたコンテンツIDに対応するコンテンツのstartup fileを読み出し、ブラウザ23に送信する。

【0076】

ブラウザ23は、ステップS53において、コンテンツサーバ75からのstartup file (startup. html)を受信する。

【0077】

図10は、このようにして受信されるstartup fileの構成例を表している。同図に示されるように、このstartup fileには、対象とするコンテンツのコンテンツIDが「content_id1」であることが記述されており、また、そのコンテンツの配信のタイプがストリーム配信されるタイプである（「content="stream"」）ことが記述されている。

40

【0078】

さらに、startup fileには、1秒間が経過した後、次に記述されるURLにジャンプすることが記述されており、そのURLとして「http://content_s_server.ssny.co.jp/sample.tts」が指定されている。

【0079】

ステップS54において、ブラウザ23は、プラグインにより、コンテンツ再生部24を起動する。

50

【0080】

ステップS25で、コンテンツ再生部24は起動し、ステップS26において、DRM処理部25に対してライセンス取得を依頼する。

【0081】

ステップS71において、DRM処理部25は、コンテンツ再生部24からのライセンス取得依頼を受信すると、ステップS72において、DRMサーバ74にアクセスし、DRM処理を要求する。このとき、DRMサーバ74には、回数としてコンテンツ再生部24が再生するコンテンツのライセンスIDとユーザIDが付加されている。

【0082】

ステップS111で、DRMサーバ74は、DRM処理部25からの要求に基づいて、DRM処理を実行する。DRMサーバ74は、DRM処理部25から供給されたライセンスIDとユーザIDに基づいて、そのユーザがライセンスを既に取得しているか否かを確認する。その処理の詳細は省略するが、ユーザは、そのコンテンツを再生するために、予めライセンスを取得しておくことになる。DRMサーバ74は、このときユーザに付与したライセンスを識別するライセンスIDと、そのユーザのユーザIDを対応して記憶している。DRM処理部25から供給されたライセンスIDとユーザIDが、リストに登録されていれば、そのユーザは適正なユーザであると判定される。ライセンスIDとユーザIDが対応してリストに登録されていない場合には、そのユーザは、ライセンスを適正に購入したユーザではないと判定される。DRMサーバ74は、その判定結果をDRM処理部25に通知する。

【0083】

DRM処理部25は、ステップS72でDRMサーバ74からの判定結果を受信すると、それに基づいて再生を許可するか否かを判定する。そして、その判定結果がステップS73でDRM処理部25からコンテンツ再生部24に供給される。

【0084】

ステップS27において、DRM処理部25から受信した通知が再生を許可しないものである場合、コンテンツ再生部24は、再生処理を中止する。これに対して、DRM処理部25からの通知が再生を許可するものである場合（この通知には、コンテンツを復号するのに必要なキーKcも含まれている）、ステップS28において、コンテンツ再生部24は、そのライセンスのライセンスメタデータに記述されているコンテンツURL（図7）にアクセスする。いまの例の場合、このURLは、そのコンテンツが、コンテンツサーバ75に保持されていることを表している。

【0085】

ステップS123において、コンテンツサーバ75は、コンテンツ再生部24からのアクセスを受け付けると、ステップS124において、そのコンテンツURLに記述されているコンテンツ本体のデータを読み出し、コンテンツ再生部24にストリーム配信する。

【0086】

ステップS29において、コンテンツ再生部24は、コンテンツサーバ75からのストリームを受信すると、ステップS30において、暗号化されているコンテンツデータをキーKcを用いて復号し、これをユーザインターフェースとしての表示部22に供給する。表示部22は、ステップS4において、コンテンツ再生部24からのストリームを表示する。

【0087】

以上のようにして、ユーザが指定したコンテンツのストリーム配信処理が行われる。

【0088】

以上、コンテンツサーバ75からコンテンツがストリーム配信される場合の処理について説明したが、次に、デジタルテレビジョン受像機3にコンテンツが予めダウンロードされ、ファイルとして記憶されており、これを再生する場合の処理について説明する。

【0089】

この場合、デジタルテレビジョン受像機3においては、コンテンツデータを予めダウン

ロードしておく必要がある。この場合の処理について、図12のフローチャートを参照して説明する。

【0090】

アプリケーション28は、ステップS361において、メタデータデータベース73にアクセスし、メタデータ取得依頼を実行する。ステップS391において、この依頼を受け付けたメタデータデータベース73は、ステップS392において、対応するコンテンツのメタデータを読み出し、デジタルテレビジョン受像機31のメタデータデータベース29に送信する。ステップS371において、メタデータデータベース29は、メタデータデータベース73から供給されたメタデータを記憶する。

【0091】

以上の処理は、図9のステップS151乃至ステップS172の処理と同様の処理である。

【0092】

次に、ステップS362において、アプリケーション28は、ユーザからの指示に基づいて、コンテンツサーバ75にアクセスし、コンテンツの送信を依頼する。ステップS401において、この依頼を受け付けたコンテンツサーバ75は、ステップS402において、依頼を受けたコンテンツを読み出して、コンテンツ記憶部27に送信する。コンテンツ記憶部27は、ステップS381において、コンテンツサーバ75から送信されたコンテンツを受信すると、これを記憶する。

【0093】

以上のようにして、メタデータデータベース29とコンテンツ記憶部29には、メタデータと対応するコンテンツが予め記憶される。

【0094】

このように、メタデータとコンテンツデータが予め記憶された状態で図11の処理が実行される。

【0095】

ステップS201において、入力部21は、ユーザからの指示に基づいて（ユーザがメニューボタン59を操作したとき）、メニュー起動をコンテンツ再生部24に指示する。コンテンツ再生部24は、ステップS221において、入力部21からのメニュー起動の指令を受け付けると、ステップS222において、メタデータデータベース29にメタデータの読み出しを指令する。

【0096】

ステップS291において、コンテンツ再生部24からの指令を受け付けると、メタデータデータベース29は、ステップS292において、予め記憶されているメタデータを読み出し、コンテンツ再生部24に出力する。

【0097】

コンテンツ再生部24は、ステップS223において、メタデータデータベース29からのメタデータを受信すると、ステップS224において、コンテンツのタイトルを読み出し、表示部22に出力する。ユーザインターフェースとしての表示部22は、ステップS202において、コンテンツ再生部24からの番組タイトルの提示を受け付けると、これをユーザに提示する。

【0098】

ユーザは、この番組タイトルの表示を見て、再生したいと思う番組をリモートコマンド51を操作することで選択する。ステップS203において、入力部21は、ユーザにより選択されたコンテンツを指定する情報をブラウザ23に供給する。

【0099】

ブラウザ23は、ステップS221において、入力部21からの選択を受け付けると、ステップS222において、選択された番組（コンテンツ）のコンテンツIDをメタデータデータベース29に供給し、対応するstartup fileの送信を要求する。

【0100】

10

20

30

40

50

ステップS 2 9 3において、メタデータデータベース 2 9は、ブラウザ 2 3からの要求を受信すると、ステップS 2 9 4において、そのコンテンツに対応する `startup file`を読み出し、それをブラウザ 2 3に供給する。

【0101】

ブラウザ 2 3は、ステップS 2 5 3において、メタデータデータベース 2 9から供給された `startup file`を受信する。

【0102】

図13は、このようにして、ブラウザ 2 3が受信する `startup file`の例を表している。この例においては、コンテンツの配信のタイプが「download」とされ、コンテンツIDが「content_id 2」とされている。そして、この例において、1秒間が経過した後、続くURLにジャンプすることが記述されている。

【0103】

ブラウザ 2 3は、このジャンプ先がMPEG-2 TSのファイルであるので、ステップS 2 5 4において、プラグインによりコンテンツ再生部 2 4の起動を指示する。

【0104】

コンテンツ再生部 2 4は、ステップS 2 2 5において、ブラウザ 2 3からの指示に基づいて起動し、ステップS 2 2 6において、URL処理部 2 5に対して、ライセンス取得依頼を発行する。DRM処理部 2 5は、ステップS 2 7 1において、コンテンツ再生部 2 4からの依頼を取得すると、ステップS 2 7 2において、DRMサーバ 7 4と通信し、DRM処理を要求する。DRMサーバ 7 4は、ステップS 3 3 1において、DRM処理部 2 5からの要求に基づいて、DRM処理を実行する。この処理は、図8におけるステップS 1 1 1の処理と同様の処理である。

【0105】

DRM処理部 2 5は、ステップS 2 7 2において、DRMサーバ 7 4からのDRM処理結果を受信すると、ステップS 2 7 3において、その処理結果をコンテンツ再生部 2 4に通知する。

【0106】

コンテンツ再生部 2 4は、この通知の結果が再生を許可しないものである場合には、再生動作を中止する。再生が許可されている場合には、コンテンツ再生部 2 4は、ステップS 2 2 8において、再生を指示されたコンテンツのファイルの読み出しを指示する。

【0107】

いまの場合、コンテンツURLは、コンテンツがコンテンツ記憶部 2 7に記憶されていることを表しているので、ステップS 3 1 1において、コンテンツ記憶部 2 7は、コンテンツ再生部 2 4からファイルの読み出しを受け付けると、ステップS 3 1 2において、指示されたファイルのデータを読み出し、コンテンツ再生部 2 4に供給する。

【0108】

ステップS 2 2 9において、コンテンツ再生部 2 4は、データの入力を受け付けると、ステップS 2 3 0において、これをユーザインターフェースとしての呈示部 2 2に出力する。

【0109】

呈示部 2 2は、ステップS 2 0 4において、コンテンツ再生部 2 4からのデータを受信すると、これを表示する。

【0110】

以上のようにして、デジタルテレビジョン受像機 3のコンテンツ記憶部 2 7に、予め記憶されているコンテンツの再生処理が実行される。

【0111】

なお、図10と図13に示される例においては、ファイルがいずれも `http` (Hypertext Transfer Protocol) のスキーム名で記述されている場合を例としたが、例えば、図14に示されるように、`rtp` (Real-Time Transport Protocol) のスキーム名とすることもできる。要は、リソースの

種類がそれぞれのプロトコルに基づいて表されていばよい。

【0112】

以上においては、サーバ2とデジタルテレビジョン受像機3との間の相互の処理について、主に説明したが、コンテンツを利用する装置としてのデジタルテレビジョン受像機3側の処理について着目すると、その処理は、図15と図16のフローチャートに示されるようになる。

【0113】

ユーザがメニューボタン59を操作すると、コンテンツ再生部24は、ステップS501において、メタデータデータベース29に記憶されているメタデータに基づいて、図17に示されるような、タイトルの一覧を呈示部22に出力し、表示させる。

10

【0114】

図17の例においては、「邦画」、「洋画」、「アニメ」、「ドラマ」、「スポーツ」といったジャンル選択アイコンが表示されるとともに、選択されているジャンル（図17の例の場合、「アニメ」）のコンテンツのリストが表示されている。各コンテンツは、そのタイトルが、利用情報、構成情報、並びに蓄積情報とともに表示されている。

【0115】

この例においては、最初の番組は、利用期間が「あと3日」とされ、2番目の番組は、「あと1日」とされている。3番目と4番目の番組は、まだ「未購入」とされている。5番目の番組は、「New!」の番組とされている。また、最初の番組は、「バック」で構成された番組とされている。また、第1番目乃至第3番目の番組は、既にコンテンツ記憶部27に「蓄積済み」であることが示されている。このことは、4番目と5番目の番組は、まだ蓄積されていないことを意味する。

20

【0116】

ステップS502において、コンテンツ再生部24は、番組が選択されたか否かを判定し、選択されていないと判定された場合には、選択されるまで待機する。

【0117】

ステップS502において、番組が選択されたと判定された場合、ステップS503において、コンテンツ再生部24は、選択された番組が「バック」の番組であるか否かを判定する。バック構成の番組である場合、ステップS504に進み、コンテンツ再生部24は、例えば、図18に示されるように、選択された番組（「バック」）のパッケージ内に収納されているタイトルの一覧を表示する。

30

【0118】

図18は、図17の1番目の「機動戦士Zガンガン全話3Week」のタイトルの番組が選択された場合の表示例を示している。この例においては、50話のシリーズの番組のうちの最後の第47話から最終話（第50話）までの番組のタイトルが表示されている。このタイトルは、リモートコマンド51のアップ用の方向ボタン55Uまたはダウン用の方向ボタン55Dを操作することで、上下にスクロール表示される。

【0119】

コンテンツ再生部24は、ステップS505において、再生ボタン58が操作されたか否かを判定する。再生ボタン58が操作されていないと判定された場合には、ステップS506に進み、コンテンツ再生部24は、元の画面に戻る指示がなされたか否かを判定する。図18の表示例においては、「戻る」ボタンが表示されており、ユーザは、方向ボタン55U乃至55Rを操作することでカーソル141を「戻る」ボタン上に移動表示させ、決定ボタン54を操作して、元の画面に戻る指示を入力することができる。元の画面に戻る指示がなされていない場合には、ステップS505に戻り、それ以降の処理が繰り返し実行される。元の画面に戻る指示がなされたら判定された場合、処理はステップS501に戻り、再び図17に示されるタイトル一覧が表示され、それ以降の処理が実行される。

40

【0120】

ステップS505において、再生ボタン58が操作されたら判定された場合、処理はステップS507に進む。ステップS502において、番組が選択されたら判定され、かつ、

50

ステップS503において、選択された番組がバックの番組ではない（1つのコンテンツで構成される番組である）と判定された場合にも、ステップS504乃至ステップS506の処理はスキップされ、処理はステップS507に進む。

【0121】

コンテンツ再生部24は、ステップS507において再生または選択された番組（コンテンツ）が既に購入済みであるか否かを判定する。番組が既に購入済みである場合には、ステップS508に進み、コンテンツ再生部24は、そのコンテンツはストリーミング再生用のコンテンツであるか否かを判定する。この判定は、その番組（コンテンツ）の `startup file` における記述が、「`stream`」とされているか否かから行われる。その番組（コンテンツ）がストリーミング用のコンテンツであると判定された場合（`startup file` に「`stream`」と記述されている場合）、ステップS511に進み、コンテンツ再生部24は、そのコンテンツを再生する。すなわち、上述したように、コンテンツサーバ75からストリーミング配信された、暗号化されているコンテンツがキーKcで復号され、表示部22に供給され、表示される。なお、コンテンツの配信のタイプは、`startup file` ではなく、ライセンスメタデータの記述に基づいて判定することもできる。

【0122】

ステップS508において、コンテンツはストリーミング再生用のコンテンツではないと判定された場合（`startup file` に「`download`」と記述されている場合）、ステップS509に進み、コンテンツ再生部24は、そのコンテンツが蓄積済みであるか否かを判定する。コンテンツが蓄積済みである場合には、ステップS511に進み、コンテンツ再生部24は、コンテンツ記憶部27からその暗号化されているコンテンツデータを読み出し、キーKcで復号し、表示部22に供給し、表示させる。

【0123】

ステップS509において、コンテンツは、蓄積済みではないと判定された場合、ステップS510に進み、コンテンツ記憶部27は、そのコンテンツを蓄積する処理を実行する。すなわち、コンテンツサーバ75より供給されたダウンロード用のファイルがコンテンツ記憶部27により受信され、記憶される。

【0124】

ステップS507において、コンテンツはまだ購入済みではないと判定された場合、ステップS512に進み、コンテンツ再生部24は、パッケージリスト（このパッケージリストはパッケージメタに含まれている）を表示する処理を実行する。

【0125】

例えば、ステップS504のバック内のタイトル一覧の表示処理で、図19に示されるようなタイトル一覧が表示されたとする。このタイトル一覧は、図19に示されるように、利用情報が既に「期限切れ」となっている。従って、ユーザが図19に示される4つの番組のうち、例えば、1番下に表示されている「未視聴」の番組「最終話 宇宙を駆ける」を選択したとすると、ユーザが、この番組を視聴するには、購入する必要があり、ステップS507では、その番組は購入済みではないと判定される。そして、この例の場合、その番組を提供する形態として、3つの形態があるので、ステップS512では、その3つの形態が、図20に示されるように表示される。

【0126】

図20の1番上の形態は、「最終話」の番組だけを購入する形態である。第2番目の形態は、「第4話」から「最終話」までの「5話」を、1つのバックとして購入する形態である。第3番目の形態は、「第1話」から「最終話」までの全話を1つのバックとして購入する形態である。

【0127】

ユーザは、リモートコマンド51を操作することで、3つの形態の中から、購入するいずれかの形態を1つ選択する。

【0128】

そこで、コンテンツ再生部24は、ステップS513において、いずれかの購入形態が選択されるまで待機し、いずれかの形態が選択されたと判定された場合、ステップS514に進み、選択された番組(コンテンツ)がストリーミング再生用のコンテンツであるか否かを判定する。ストリーミング再生用のコンテンツである場合には、ステップS516に進み、コンテンツ再生部24は、例えば、図21に示されるような購入勧誘のための画面を表示する。図21の表紙例においては、「最終話 宇宙を駆ける」の1つの番組が「200円」で購入できることが提示されている。そして、購入するか否かを「はい」と「いいえ」のボタンで選択するようになされている。ユーザは、リモートコマンド51の方向ボタン55U乃至55Rと、決定ボタン54を操作することで、「はい」と「いいえ」のボタンのいずれかを選択することで、購入または購入しないことを指示する。

10

【0129】

購入が指示されない場合には(「いいえ」ボタンが操作された場合には)、処理はステップS512に戻り、再びバッカージリスト(図20)が表示され、それ以降の処理が実行される。

【0130】

ステップS517において、購入が指示されたと判定された場合(「はい」ボタンが操作されたと判定された場合)、ステップS518に進み、コンテンツ再生部24は、コンテンツを再生する処理を実行する。いまの場合、コンテンツは、ストリーミング再生用のコンテンツであるため、コンテンツサーバ75からストリーミング配信されたコンテンツが受信され、復号され、呈示部22に提示されることになる。

20

【0131】

ステップS514において、選択された番組(コンテンツ)がストリーミング再生用のコンテンツではないと判定された場合(ダウンロードのファイルのコンテンツであると判定された場合)、ステップS515に進み、コンテンツ再生部24は、コンテンツが蓄積済みか否かを判定する。コンテンツが蓄積済みである場合には、ステップS516に進み、上述した場合と同様に、図21に示されるような購入勧誘を表す画像が表示される。そして、ユーザは、上述した場合と同様に、「はい」または「いいえ」ボタンを操作することで、購入または非購入を指示する。非購入が指示された場合には、ステップS512に処理は戻る。

30

【0132】

購入が指示された場合、ステップS518に進み、再生処理が実行される。いまの場合、コンテンツはコンテンツ記憶部27に既に記憶されているため、コンテンツ再生部24は、コンテンツ記憶部27に記憶されているコンテンツを再生、復号し、呈示部22に供給し、表示させる。

【0133】

ステップS515において、コンテンツは蓄積済みではないと判定された場合、ステップS519に進み、コンテンツ再生部24は、図22に示されるような購入勧誘のための画像を呈示部22に表示させる。

【0134】

図22は、図20の1番目の購入形態で購入を指示した場合の表示例を表している。ステップS516で表示された図21の表示例も同様に、図20の1番目の購入形態でコンテンツを購入した場合であるが、この場合には、コンテンツはストリーム配信される。これに対して、図22の表示例は、ストリーム配信されるのではなく、ダウンロードのファイル配信される場合である。この場合には、「ダウンロードにはxx分かかります。」のメッセージが番組のタイトル以外に表示されている。ユーザは、この場合にもコンテンツを購入する場合には「はい」のボタンを選択し、購入しない場合には「いいえ」のボタンを選択する。

40

【0135】

ステップS520において、コンテンツ再生部24は、購入が指示されたか否かを判定し、指示されなかった場合には(「いいえ」ボタンが選択された場合には)、ステップS5

50

12に戻り、再び図20に示されるようなパッケージリストを表示し、それ以降の処理を実行する。

【0136】

ステップS520において、購入が指示されたと判定された場合（「はい」ボタンが選択された場合）、ステップS521に進み、コンテンツ再生部24は、コンテンツのファイルをダウンロードし、蓄積する処理を実行する。すなわち、コンテンツサーバ7より供給されたダウンロード用のファイルがコンテンツ記憶部27にダウンロードされ、記憶されることになる。

【0137】

このように、ユーザに呈示されるコンテンツリスト上には、ストリーミング配信されるコンテンツと、ダウンロード用のファイルとして配信されるコンテンツとが混在して表示される。但し、ユーザには、配信タイプは表示されない。単に、番組（パッケージ）のタイトルが表示されるだけである。従って、ユーザは、ストリーミング配信用のコンテンツであるのか、ダウンロード用ファイル配信のコンテンツであるのかを気にすることなく、単に、番組を選択するだけの操作で、統一的に番組を選択し、その提供を受けることができる。さらに、この場合において、コンテンツが既に購入済みであるか否かを、ユーザが考慮する必要もない。購入済みでなければ、購入するか否かをユーザに問い合わせるメッセージが表示されるので、ユーザは、単に、その問い合わせに答えるだけでよい。

【0138】

また、既にそのコンテンツが購入済みである場合には、もし、そのコンテンツがストリーミング配信用、もしくは、蓄積済みのコンテンツであれば、自動的にコンテンツが再生される。従って、簡単かつ容易に、インターネットやプロトコルといったことに関する知識を有しない老人、子供、女性といった一般ユーザでも、簡単かつ確実に、コンテンツを視聴することが可能となる。なお、ユーザに提示される各種の情報は、パッケージメタに含まれている。なお、図示は省略したが、サーバ2とデジタルテレビジョン受像機3は、それぞれ、インターネット1を介して通信するためのインターフェース処理を行う通信部を有している。データは暗号化されて授受される。

【0139】

以上においては、本発明をデジタルテレビジョン受像機に応用した場合を例として説明したが、本発明は、ビデオカセットレコーダ、テレビチューナ、ハードディスクレコーダ、DVD (Digital Versatile Disk) レコーダ、その他各種のコンテンツ処理装置に適用することが可能である。

【0140】

また、配信するコンテンツは、テレビジョン放送の番組に限らず、各種のコンテンツとすることができる。

【0141】

上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるし、ソフトウェアにより実行させることもできる。この場合、例えば、デジタルテレビジョン受像機3には、図23に示されるようなコンピュータが含まれる。

【0142】

図23において、CPU (Central Processing Unit) 321は、ROM (Read Only Memory) 322に記憶されているプログラム、または記憶部328からRAM (Random Access Memory) 323にロードされたプログラムに従って各種の処理を実行する。RAM 323にはまた、CPU 321が各種の処理を実行する上において必要なデータなども適宜記憶される。

【0143】

CPU 321、ROM 322、およびRAM 323は、バス324を介して相互に接続されている。このバス324にはまた、入出力インタフェース325も接続されている。

【0144】

入出力インタフェース325には、キーボード、マウスなどよりなる入力部326、CR

T (Cathode Ray Tube)、LCD (Liquid Crystal display) などよりなるディスプレイ、並びにスピーカなどよりなる出力部 3 2 7、ハードディスクなどより構成される記憶部 3 2 8、モデムなどより構成される通信部 3 2 9 が接続されている。通信部 3 2 9 は、インターネット 1 を含むネットワークを介しての通信処理を行う。

【0145】

入出力インタフェース 3 2 5 にはまた、必要に応じてドライブ 3 4 1 が接続され、磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスク、或いは半導体メモリなどのリムーバブルメディア 3 4 2 が適宜装着され、それらから読み出されたコンピュータプログラムが、必要に応じて記憶部 3 2 8 にインストールされる。

10

【0146】

上述した一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、ネットワークや記録媒体からインストールされる。

【0147】

この記録媒体は、図 23 に示されるように、装置本体とは別に、ユーザにプログラムを配信するために配布される、プログラムが記録されている磁気ディスク（フロッピーディスクを含む）、光ディスク（CD-ROM (Compact Disk-Read Only Memory)、DVD (Digital Versatile Disk) を含む）、光磁気ディスク（MD (Mini-Disk) を含む）、もしくは半導体メモリなどよりなるリムーバブルメディア 3 4 2 により構成されるだけでなく、装置本体に予め組み込まれた状態でユーザに配信される、プログラムが記録されている ROM 3 2 2 や、記憶部 3 2 8 に含まれるハードディスクなどで構成される。

20

【0148】

なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0149】

また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0150】

【発明の効果】

以上のごとく本発明によれば、コンテンツを配信することができる。特に、簡単かつ確実に、コンテンツを配信することが可能となる。また、コンテンツの配信方法に関する技術的知識を有しない一般ユーザでも、操作性を悪化させることなく、コンテンツを配信することが可能となる。これにより、インターネットを中心とするネットワークを介して、コンテンツを配信するシステムを普及させることが可能となる。

30

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明を適用したコンテンツ配信システムの構成例を示すブロック図である。

【図 2】 図 1 のデジタルテレビジョン受像機の機能的構成例を示すブロック図である。

【図 3】 図 1 のデジタルテレビジョン受像機を遠隔操作するリモートコマンドの外観の構成を示す正面図である。

40

【図 4】 図 1 のサーバの構成例を示すブロック図である。

【図 5】 図 1 のデジタルテレビジョン受像機とサーバの間で授受される情報を示す図である。

【図 6】 各種の ID とメタデータの間を説明する図である。

【図 7】 バックジェネラ、ライセンスメタデータ、およびコンテンツメタデータの間を説明する図である。

【図 8】 デジタルテレビジョン受像機がサーバからストリーミング配信を受ける場合の動作を説明するフローチャートである。

【図 9】 図 8 の処理の前提となる処理を説明するフローチャートである。

50

【図10】ストリーム配信の場合における startup file の構成例を示す図である。

【図 1-1】 予め記憶されているファイルの再生処理を説明するフローチャートである。

【図12】 図11の処理の前提となる処理を説明するフローチャートである。

【図13】ダウンロード用のstartup fileの構成例を示す図である。

【図14】ストリーム配信の場合の他のプロトコルのstartup fileの構成例を示す図である。

【図15】図1のデジタルテレビジョン受像機のコンテンツ利用処理を説明するフローチャートである。

【図16】図1のデジタルテレビジョン受像機のコンテンツ利用処理を説明するフローチャートである。

【図17】タイトル一覧の表示例を示す図である。

【図18】バック内タイトル一覧の表示例を示す図である。

【図19】バック内タイトル一覧の表示例を示す図である。

【図20】パッケージリストの表示例を示す図である。

【図 2 1】購入勧誘の画像の例を示す図である。

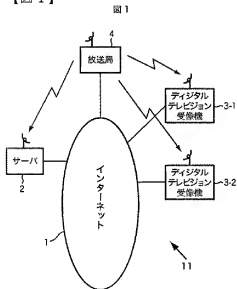
【図 2 2】購入勧誘の画像の例を示す図である。

【図 2 3】 パーソナルコンピュータの構成例を示すブロックである。

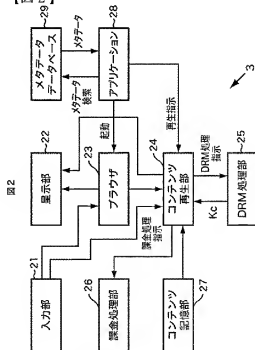
【符号の説明】

1 インターネット、 2 サーバ、 3-1、 3-2 デジタルテレビジョン受信機 20
、 4 放送局、 11 コンテンツ配信システム、 21 入力部、 22 呈示部、
23 ブラウザ、 24 コンテンツ再生部、 25 DRM処理部、 26 課金処
理部、 27 コンテンツ記憶部、 28 アプリケーション、 29 メタデータデ
ータベース、 71 ショップサーバ、 72 決済サーバ、 73 メタデータデ
ータベース、 74 DRMサーバ、 75 コンテンツサーバ

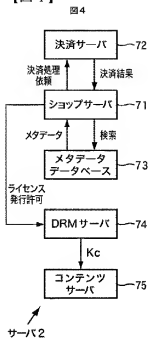
【图 1】



【图2】



【图 4】



【圖 6】

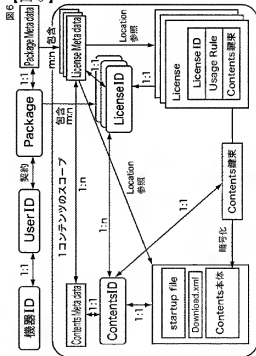
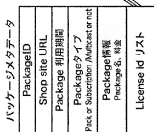


圖 7

[illegible]

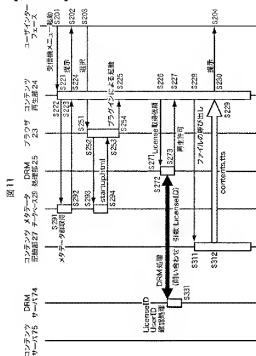
671

[illegible]60
61

圖 10

```
<html>
<head>
<meta name="distribution" content="stream">
<meta name="content-id" content="<content-id>">
<meta http-equiv="refresh" content="1";
url=http://contents_server.ssnai.co.jp/sample.tts">
</head>
<body>
</body>
```

【 1 1 】



115

【图 12】

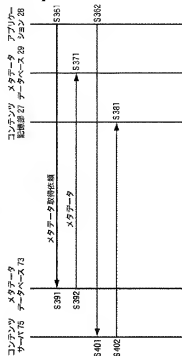


图 12

【例 13】

```
<html>
<head>
<meta name="distribution" content="download">
<meta name="content-id" content="<i>content-id2</i>">
<meta http-equiv="refresh" content="1";
url=http://contents_server.ssnj.co.jp/sample.htm">
</head>
<body>
</body>
```

图 13

【图 14】

```
<html>
<head>
<meta name="distribution" content="stream">
<meta name="content-id" content="1"><content-id>
<meta http-equiv="refresh" content="1";
url=http://contents_server.sony.co.jp/sample.htm">
</head>
<body>
</body>
```

图 14

【圖 15】

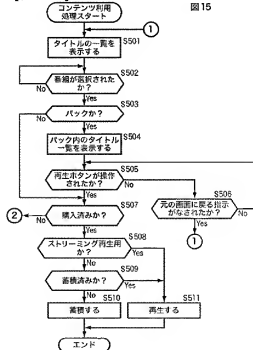
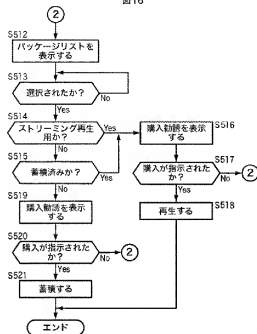


图 15

16



217

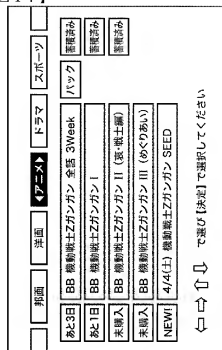


圖 18

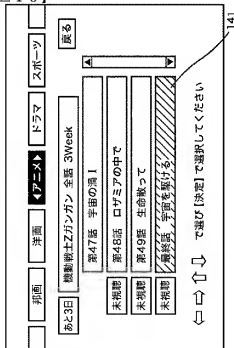


图 19

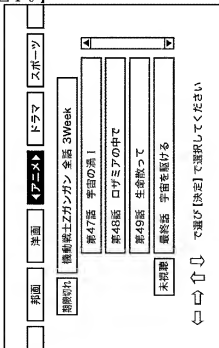


図 22

【図 2 2】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	邦画	洋画	アニメ	ドラマ	スポーツ
--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----	------------	-----	------

有料番組の購入

機動戦士Zガンガン 各話
最終話 宇宙を駆ける 200円
このコンテンツはダウンロード後に視聴可能になります。(ダウンロードにはxx円がかかります。)
購入しますか?

はい いいえ

⇐ ⇨ ↑ ↓ で選び [決定] で選択してください

図 20

【図 2 0】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	邦画	洋画	アニメ	ドラマ	スポーツ
--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----	------------	-----	------

機動戦士Zガンガン
最終話 宇宙を駆ける

機動戦士Zガンガン 各話 最終話

機動戦士Zガンガン 5話パック 46—最終話

機動戦士Zガンガン 全話パック 3Week

⇐ ⇨ ↑ ↓ で選び [決定] で選択してください

(28)

JP 2004-326459 A 2004.11.18

図 23

【図 2 3】

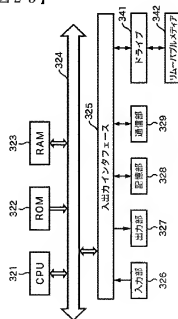


図 21

【図 2 1】

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	邦画	洋画	アニメ	ドラマ	スポーツ
--------------------------	--------------------------	--------------------------	----	----	------------	-----	------

有料番組の購入

機動戦士Zガンガン 各話
最終話 宇宙を駆ける 200円
購入しますか?

はい いいえ

⇐ ⇨ ↑ ↓ で選び [決定] で選択してください

フロントページの続き

(72)発明者 下地 達也

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

(72)発明者 松井 義徳

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

F ターム(参考) SC064 RA01 BB10 BC16 BC20 BD02 BD08